

「CSR情報2014」日立システムズグループのCSR活動はWebサイトで紹介しています。
<http://www.hitachi-systems.com/csr/index.html>

トップメッセージ

Close up :
人 × ITの力で、持続可能な社会の実現へ。
ITサービスを通じて、社会の課題解決に貢献している事例を紹介しています

CSRマネジメント

- CSRに対する考え方
- 事業を通じた社会への貢献
- CSR経営の実現に向けて
- CSR推進体制
- コーポレート・ガバナンス
- コンプライアンス
- BCPの策定・運用
- 情報セキュリティ／個人情報保護
- 知的財産権

社会報告

- 品質への取り組み
- 人権の尊重
- お客さまとともに
- 従業員とともに
- お取引先とともに
- 社会貢献活動
- 災害復興支援

会社概要

商号	株式会社日立システムズ
英語表記	Hitachi Systems, Ltd.
設立	1962年10月1日
資本金	19,162百万円
代表者	代表取締役 取締役社長 高橋 直也
事業内容	システム構築事業／システム運用・監視・保守事業 ネットワークサービス事業 情報関連機器・ソフトウェアの販売と開発
売上高	355,337百万円 (2014年3月期、単独) 385,123百万円 (2014年3月期、連結) ※本数値は、公認会計士の監査を受けておりません。
従業員数	10,861名 (2014年3月31日現在、単独) 17,555名 (2014年3月31日現在、連結)

環境報告

- 環境マネジメント
- 環境負荷低減の取り組み
- 「環境」への貢献
- CSRニュース
- 目標と実績
- GRIガイドライン対照表
- ステークホルダー・ダイアログ
- バックナンバー
- 編集方針
- サイトマップ



グループ会社 (2014年6月現在)

- 国内**
- 株式会社北海道日立システムズ
 - 株式会社四国日立システムズ
 - 株式会社九州日立システムズ
 - 株式会社日立システムズエンジニアリングサービス
 - 株式会社日立システムズファシリティアサービス
 - 日立システムズ・テクノサービス株式会社
 - 株式会社日立システムズパワーサービス
 - 株式会社日立システムズネットワークス
- 海外**
- Cumulus Systems Inc. [北米]
 - Cumulus Systems Private Ltd. [インド]
 - Hitachi Sunway Information Systems Sdn. Bhd. [マレーシア]
 - Hitachi Sunway Information Systems (Singapore), Pte. Ltd. [シンガポール]
 - Hitachi Sunway Information Systems (Thailand), Ltd. [タイ]
 - Hitachi Sunway Information Systems (Philippines), Inc. [フィリピン]
 - PT. Hitachi Sunway Information Systems (Indonesia) [インドネシア]
 - Hitachi Systems Vietnam Company Ltd. [ベトナム]
 - Hitachi Systems Micro Clinic Pvt. Ltd. [インド]
 - 日立系統(広州)有限公司 [中国]

日立システムズグループ

CSR情報2014

[トップメッセージ]

Human * IT



人とITのチカラを通じて 新たな価値を創造し、 持続可能な社会の実現に 貢献してまいります。



代表取締役 取締役社長 高橋 直也

企業理念と重なるCSR

当社が提供するITサービスは、人々の暮らしやさまざまな産業を支える「情報インフラ」としての役割を担っており、このことは、当社が事業を通じて、幅広い分野で社会の発展に貢献できることを意味しています。そして当社は、社会に存在する意義や果たすべき使命として「業界の先駆的企業としての経験と誇りを以って、情報技術・製品・サービスの開発と提供を通じ、真に豊かな社会の実現に貢献する」と企業理念に定めています。この想いは、持続可能な社会の実現に貢献するというCSRの意義と重なります。

また、当社の企業理念には、「お客さまに一番近い存在として、満

足と感動をもたらす新たな価値を創造する」という言葉があります。これは、お客さまが気付いていない課題にも踏み込み、お客さまのさらなる成長に向けた提案を行うとともに、お客さまとその先にある地域や社会の立場で物事を考え、新しい価値を提供することで、社会の発展に貢献するという考えを表しています。これも、ステークホルダーの視点で考え行動するというCSRの考え方に一致します。

社会インフラ事業を通じて、 安心・安全な社会基盤づくりに貢献

当社が中長期的に成長するためには、地域社会や国際社会などにも目を向け、事業を通じて社会的な課題を解決し、新しい市場を開拓していくことが重要です。特に、日立グループが注力する社会インベション事業はITの力が不可欠ですので、当社としても大きな役割を果たせると考えています。

こうした背景から、今年の3月に、主にエネルギー業界向けにITサービスを提供する日立システムズパワーサービスを設立し、4月には、交通、防災・防犯、エネルギーの3分野を中心に社会インフラ領域の事業拡大をめざす「社会インフラ事業グループ」を設置しました。

近年、社会インフラへの投資は、グローバル規模で拡大しています。新興国では、急激な人口増加や経済発展などを背景に、大規模な都市開発やエネルギー、交通、水などの社会インフラに対する需要が高まっています。また、先進国でも、社会インフラの老朽化対策や、低炭素社会の実現に向けて、ITを活用した次世代型社会インフラの構築が求められています。

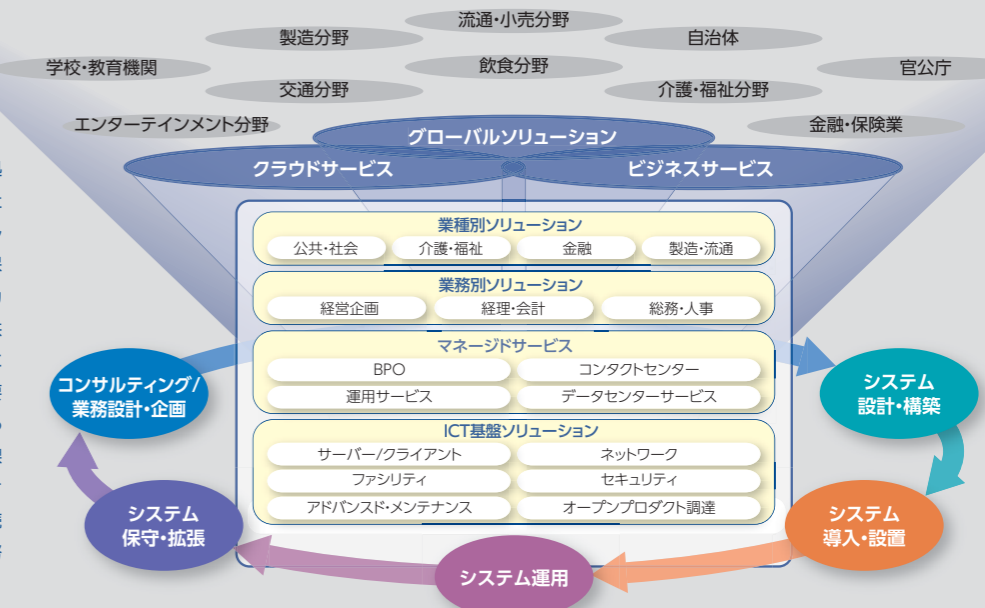
こうした状況を受け、社会インフラ事業グループでは、交通機関や電力・ガス・水道などの事業者に対する実績・ノウハウを生かして、安心で安全な社会基盤づくりに貢献していきます。

ITサービスを通じて、 グローバル社会の課題解決に貢献

当社は中期経営計画で、2015年度に連結売上高5,000億円を目標としており、そのうち海外での売上高比率を10%に高めることを

事業を通じた社会への貢献

日立システムズは、全国各地のサービス拠点、ネットワーク、データセンターなどの自社インフラをベースに、システムのコンサルティングから設計・構築、導入・設置、運用、保守・拡張まで、ITライフサイクルのすべてをカバーする「真のワンストップサービス」の提供を通じて、幅広い業種のお客さまのご要望に応えています。幅広い業種のお客さまのご要望に応えています。サービスの提供にあたっては、お客さまに一番近い存在として経営課題や社会課題と向き合い、お客さまとお客さまに関わる多くのステークホルダーの持続的な成長に貢献する新たな価値の創造に努めています。



めざしています。

この目標を達成するため、当社では、昨年4月にマレーシアのSunway Technology Sdn. Bhd. との合併会社「Hitachi Sunway Information Systems Sdn. Bhd.」を設立し、今年の4月には、中国で日立系統(広州)有限公司を日立システムズグループに迎え入れました。また、インドの有力なITサービス企業であるマイクロクリニック社をグループに迎え入れ、4月にHitachi Systems Micro Clinic Pvt. Ltd. (日立システムズマイクロクリニック)として事業を開始しました。

インドは将来有望な市場として、日本をはじめ各国の企業が進出しています。一方で、電力や交通ネットワークなど社会インフラが未整備な地域も多く、ITを活用したさまざまな社会基盤の構築が求められています。日立システムズマイクロクリニックでは、インド国内の主要都市に設置した16カ所の事業拠点と約150カ所のサテライトオフィスを生かし、ITプラットフォームの提供や保守サービスを中心に幅広いITサービスを提供しています。今後は当社のサービスや技術、経営リソースを組み合わせることにより、IT機器の調達からシステム設計・構築、運用、保守に至るワンストップサービスを提供していきます。

グローバル人財の育成とダイバーシティを加速

当社では、これからもグローバル市場に活動の場を広げ、グローバル社会の課題解決に貢献していきたいと考えています。

当社がさまざまな社会課題に目を向けながらグローバル市場で成長を続けるためには、国際ルールの遵守はもちろん、事業活動を展開する国・地域の社会情勢や文化、慣習などを互いに理解し、尊重し合うことが大切です。したがって、海外の多様な価値観を理解し、その多様性を受容したうえで業務を遂行できる人財を育成することが重要になります。また、企業競争力を高めるためには、人財の多様性——ダイバーシティを加速していくことも重要です。

「日立システムズWay」を推進し、 持続可能な社会の実現に貢献

当社では、多様な人財の積極的な登用や、海外の多様な価値観受容に対する意識改革を、管理職も含めて進めています。一方で、「日立グループ人権方針」を踏まえたグローバル観点での人権意識の向上を図っています。

こうしたグローバル人財の育成とダイバーシティの加速を通じて、グローバル事業の拡大をめざしていきます。

当社は2012年度に、ISO26000を活用したCSR課題の棚卸しや有識者とのディスカッション、ステークホルダーダイアログなどを実施して、「CSR3カ年ロードマップ」を策定するとともに「マテリアリティ」の抽出作業を行いました。現在は、ロードマップに沿って、各部門がCSR活動のPDCAマネジメントサイクルを回しています。

また、当社は、従業員基点の経営モデルとして「日立システムズWay」を推進しています。これは、体系化した「ステートメント」を全社で共有し、日々の活動がステークホルダーにどのように映っているかを検証しながら、継続的にブランド価値を向上させていく仕組みです。この「日立システムズWay」を確実に実践していくことが、当社の経営とCSRを結びつけていく基礎になると考えています。

当社は、これからも従業員一人ひとりが基本と正道ののっとり行動するとともに、スピード感をもって、社会的な課題解決に積極的に取り組んでまいります。そして、人とITのチカラを通じてステークホルダーの皆さまとともに新たな価値を創造し、ITサービス業界の中核企業として持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

CSRの考え方

企業理念に基づき、多彩な人財と、先進の情報技術を組み合わせたITサービスを通じてお客さま・社会のニーズに応え、持続可能な社会の実現に率先して貢献することが、日立システムズのCSRです。社会環境が大きく変化するにつれ顕在化してきた課題に対して、当社は「基本と正道」ののっとりしてCSR活動の基盤確立に努めるとともに、本業であるITサービスを通じた解決を図ってまいります。

CSR概念図

